

東近江市立幼稚園・小中学校バス通園通学検討委員会中間報告
保護者説明会における主な意見(小学校)

平成22年7月27日～8月9日 対象:10小学校

1、スクールバス利用地域

1	交通安全設備(歩道、信号機の設置等ハード面)及び防犯面(スクールガード、子ども見守り隊)での整備が整うまでの間は、スクールバスを継続してほしい。
2	少子化が進み、学年に1人等児童数の少ない地域がある。登校時は全学年集団登校であるが、下校時は低学年少人数での下校となり、交通安全上また防犯上危険である。
3	平成20年度以降、交通安全設備の整備やスクールガード活動など、通学路の安全対策がどれだけ改善されたのか見えてこない。
4	スクールバスの替りに、ちょこっとバス(号)を通学バスとして利用できるように運行してほしい。
5	安全基準(危険度を点数で表すなど)を定めてほしい。
6	徒歩通学になると、3kmに近い地域での体力のない1年生は、歩くだけで疲れてしまう。朝も早く出なければならず、子どもに負担がかかる。スクールバスから徒歩通学には、徐々に切り替えることはできないのか。
7	スクールガードや子ども見守り隊の活動について、地域の協力を得るのが難しい地域があるため、市からも働きかけてほしい
8	通学途上における交通事故や不審者による犯罪等危険な目にあうことが多い中、スクールバスが運行されているのは素晴らしい施策であるのに「不均衡、不平等が問題でスクールバスを廃止」という施策は問題なのではないか。このような施策(スクールバス運行)を充実していくことが、市の発展につながるのではないか。
9	スクールバスに乗車するようになった経緯、また地域事情を考慮してもらいたい。
10	来年度徒歩通学になるならば、帰りの方法、低学年での帰宅、見守り方など安全面についての安心材料を提示してほしい

2、ちょこっとバス利用地域

1	徒歩通学になれば、通学路の交通安全整備、不審者などの防犯対策が十分でないため、通学時の安全が心配であり、このままちょこっとバスに乗車したい。
2	少子化が進み、学年に1人等の地域がある。登校時は全学年集団登校であるが、下校時は低学年少人数での下校となるため、交通安全上、また防犯上危険である。
3	バス利用基準が1,2年生と3年生以上で分かれてしまうため、公共のバスに乗ったり、バス停から学校まで歩く間に、不測の事態に遭遇したとき、1,2年生だけで対処できるのか不安である。
4	利用基準により、1,2年生と3年生以上で通学が分かれてしまうと、集団登校のよさがなくなるのではないかと。
5	ちょこっとバス(号)は、保護者が費用を負担して乗車しているため、利用しても問題はないのではないかと。
6	ちょこっとバスは地域が要望して運行してもらった経過があるし、利用率アップにも貢献している。一方で市はちょこっとバス利用を勧めており、矛盾しているのではないかと。子どもたちが乗らなくなったら廃線になるのではないかと。
7	保護者また保護者の家族の送り迎え等には限界がある。地域の人々のスクールガード活動への協力も得にくい状況である。
8	
9	
10	

五個荘小学校バス通学説明会

平成22年8月6日 19:30～21:00 ふれあい広場

出席者 22人

	主な意見
1	奥町の児童数は減少しており、学年に1～2人になっている。距離は短くても、不審者等危険な場所が多く、現在地域の人に回覧板によりスクールガードの協力をお願いしようと思っているが、いきなり小学校から徒歩というのも不安であるし、親もついていくことはできないためバスがなくなると不安。登校は徒歩通学としても、下校だけでも(スクールバスがなくなったら)ちょこっと号を利用したい。(奥)
2	通学途上における交通事故や不審者の出没等危険な目にあうことが多い中、スクールバスが運行されているのはすばらしい施策であるのに「不均衡、不平等が問題でスクールバスが廃止」という施策は問題なのではないか。このような施策(スクールバス運行)を充実していく施策が、市の発展につながるのではないか。
3	不均衡を正すことに重きをおくよりも、通学路の安全を整備する方が大事。前回の検討委員会では、子どもの安全確保を最優先するということから「通学路の環境が整うまではスクールバスを継続」となっており、通学路のハード面(交通安全設備)、ソフト面(スクールガード、子ども見守り隊)の整備をするまではスクールバスを継続してほしい。
4	児童数の減少により、今後各町学年の児童数が1人である年が続く状況である。登校は徒歩での集団登校ができて、下校は集団での下校ができないためスクールバスを存続してほしい。(和田、河曲)
5	下校時に学校から石馬寺まで田んぼばかりの人家もないところで、雷雨で雷が降るなど不測の事態があったときに、1,2年だけで対処できるのかという問題もあり、日吉としてはスクールバスを継続してほしい。親が車で迎えに行っても全員乗せられないし、学校の対応もない状況の中で、親として不安がある。距離だけでなくそういうことも考慮の基準に加えてもらいたい。(日吉)
6	犯罪も昔に比べて凶悪化している。変質者は隙を突いて出てくるため、立ち番等で見守っていても、全通学路を網羅することは無理である。
7	説明会で出た意見が検討委員会でどのように反映されるのか、また検討委員会で話し合われた内容について知りたいので、検討委員会の会議内容をホームページに載せてほしい。
8	来年新1年生になる児童の保護者もスクールバスの存続については不安を持っているため、何らかの形で知らせてほしい。
9	
10	

能登川東小学校バス通学説明会

平成22年7月28日 19:30～21:00 第二音楽室

出席者 9人

	主な意見
1	高学年と低学年とで帰宅時間に差があり、低学年で1人帰る子どもが出てくる。校区内は田舎で人家がないところもあり、安全性についてどう考えているのか。徒歩通学となる場合、子どもの安全が確保できるのなら構わない。
2	1年生の徒歩通学は、体力的に厳しく疲れてしまうため、学業に支障があるのでバス通学を続けてほしい。
3	スクールガードの協力が地域で得にくく、親も通学について行けないのが現状。バス通学の代わりに他の方法で登校できないか。たとえば、グループ送迎など。
4	現在低学年も週二回は徒歩通学だが、通学方法をめぐって行政区内でもめている。6年生は普段歩かない児童を登校班で連れて行くことが負担となっている。
5	今日は中間報告であるが、来年までにどのような対応をされるのか。今日と次回の説明時までには状況は変わらないと思うが、安全面について「こうします」と安心材料を提示して欲しい。何かわからないうちに徒歩通学になったでは困る。帰りの方法、低学年での帰宅、見守り方など安心材料を。
6	バス通学をいきなり徒歩に切り替えるのはしんどいと思うので、徐々にはできないか。朝6時に起きて7時には出発、1時間かかる。保育園、幼稚園の子どもが小学校に入学してすぐ歩くことについてどうか。(長勝寺)
7	徐々になくすことができないのなら、ちょっとバスが経由できないか。ルートを変えて乗車できないのか、検討して欲しい。ちょっとバスが病院で長く待機しているのなら学校まで回ってもらえないのか。(長勝寺)
8	
9	
10	

蒲生東小学校バス通学説明会

平成22年7月30日 19:40～20:45 相談室

出席者 5人

	主な意見
1	19年度以降どのような安全対策がとられたのかわからない。
2	地区ごとに安全性を考えて点数等をつけたのか。
3	スクールガードをお願いしている部分はあるが、川合から稲垂の間は大人でも危険であり、通学時にいっしょについてくれる人がいない。(稲垂)
4	人気のないところもあり、低学年であるため、1人で帰らすのは危険である。(木村)
5	旧蒲生町時代に稲垂区長と教育長に交わされた「安全が確認できるまでバス通学とする」との覚書がある。(稲垂)
6	布引運動公園を作るくらいなら、スクールバスを走らせてほしい。
7	
8	
9	
10	

蒲生西小学校バス通学説明会

平成22年8月3日 19:30～20:55 和室

出席者 13人

	主な意見
1	交通安全の状況の問題は以前から同じ話がでているが、何も改善されていない。そのことも解決されずバスが廃止になることはどういうことになるのか考えて欲しい。
2	通学のためでないという路線バス、ちょこっとバスはわかるが、どこかの小学校で使っている路線は小学校の休みの日は運休するとあり、明らかに小学校のためのバスとしか取れない。
3	子どもの通学に際し合戸を過ぎて民家が途切れる。保護者も少なく道中に毎日立哨することは不可能。子どもの交通安全については徐々に進めてもらっているが、自己中心的なドライバーや子どもに害意をもっている大人に対してどのように対処するか心配である。検討委員会において話は出ているのか。(横山)
4	冒頭徒歩通学の話で体力低下が言われたが、安全と体力とは、はかりにかけられない。体力づくりは他でもできる。今の時勢、不審者の出没等があり、子ども自身も不安をもって通学している。話をうやむやにしてほしくない。安全面について前回の回答では一行少し書いてあっただけ。今回はきちっとした安全対策について触れられ、だらだらせず回答が欲しい。それをクリアしてから話を進めて欲しい。
5	通学路について地域の特性など詳細の記述は書かれていない。この地域はやめようとは聞こえない。ちょこっとバスの運行も平等でない。市全体の均衡を言うなら環境も整えて欲しい。他の地域で納得されているのなら、それは要件を満たしているからであり、この地域としては改善を要望する。(横山)
6	区へのスクールガードなど見守り隊への登録、呼びかけについて市からも働きかけてくれるのか。
7	低学年が一人で帰ることは危険。子ども会でも話すがアイデアがない。上手に対応されているモデル地区があれば教えて欲しい。
8	横山地区はなぜスクールバスに現状乗車しているか、経緯等を知っておられるか。
9	これまでの報告を聞いていると、自治会で子どもの通学に対し面倒見てくれとしか聞こえてこない。20年度以降、学校から横山までの間で整備された箇所はあるのか。
10	スマートインターの工事が始まったとき、工事車両の交通量が増えるにもかかわらず、今までどおり通学するのか。具体的な対策は考えているのか。(横山)
11	市のバス運行が無理なら運賃は払うので、ちょこっとバスのルートとその時間帯だけでも変更して運行できないか。この話は横山への工事説明会で教育委員会にも話して検討してみると話された。そのように聞いていたのに、あんたらが聞いていなかったら意味がない。(横山)
12	地域のための運行であれば、実情に合わせて路線を変更することはなぜできないのか。ちょこっとバス担当者に直接来てもらって具体的に説明してほしい。担当者と呼ぶことがなぜできないのか。
13	ちょこっとバスの運行については、新しくバスの運行を頼んでいるわけではない。時間を調整してもらっただけでよいのになぜできないのか。子ども達のために考えて欲しい。本当に担当課に伝えているのか、やっってもらっているのかわからない。

14	意見が通らなかつたら一人も納得しない。ちょこっとバスの路線変更などされない限り、何年たつてもずっと言い続けていく。10年、20年、30年とずっと続いていく。その意見がまとまらないとバスは廃止せずずっと運行することになりますよ。
15	すんなりいく話ではない。もっと真剣にやってもらわないと。もう一度今言った意見を参考にして検討委員会には、一人の人間として話して欲しい。立場上の意見ではだめ。個人の意見として言って欲しい。担当代わって引き継がれても結果を出してもらいたい。
16	蒲生西小での意見は否定せず検討委員会で意見を押しして欲しい。子どもらのためにお願いしたい。
17	ちょこっとバスもいいが、3km以上は1.2年生はバス乗車となっている。横山も鋳物師も基本的にバスは走るといふことか。現在帰りのバスは、低学年は高学年が帰るまで待たせて一緒に帰っている状況。乗せたほうが料金が増えるのでは。融通利かせて欲しい。
18	報告書の前段に書かれているように、整備をまずしてから話をしていったらよい。公平性をいわれても納得できない。力の入れ方も明らかに違う。提言のとおり大前提ができた上で、バスの話となる。
19	年度も半ば。時間もない。バスをこうするならこうする、廃止するなら廃止で代替案が欲しい。バスがなくなって安全性もなくなっては困る。
20	

市原小学校バス通学説明会

平成22年7月27日 19:30～20:50 図書室

出席者 7人

	主な意見
1	下校時は、学童保育所に預ける人があるため、人数が少なくなり1人～2人になる。如来の場合 は、民家のない農道を通って帰らなければならないので、児童1人で歩かせるのは防犯上の安全が心配。
2	今はそれぞれの祖父が孫を迎えに行っているが、迎えに来てもらえる人がない場合は学童保育 所に預けるほかない。
3	朝は、集団で登校するため歩かせてもいいかもしれない。安全(防犯上)確保されたら、下校も歩 かせていい。
4	一緒に歩いたら45分かかるため、自転車通学ができないか。通学時間が短くなれば、危険にさ らされる時間が少なくなるのではないか。
5	目の前に住んでいる児童が、御園小学校へバスで通っている。隣の自治会の藤の森の児童も 山上小学校へ通っている。御園小学校へ行くことはできないのか。学区についても公平にしてほ しい。
6	スクールガードはボランティアであり責任をもってもらえない。
7	ちょこっとバスには、自分で費用を負担して乗車しているので、そのまま乗ってはいけないの か。
8	学校の外へ出たらもう保護者の責任なのか。バスに乗れなければ保護者で責任を持って送迎を してほしいということか。
9	
10	

山上小学校バス通学説明会

平成22年8月5日 19:30～21:00 図書室

出席者 9人

	主な意見
1	相谷の距離が2.0kmになっているが、遠いところでは3km以上になるところがある。
2	歩道のない箇所、冬場の旦度橋の凍結、不審者の出没等、通学路の安全が心配である。(相谷)
3	藤の森において、近江バスの利用をしているがバス停が421号線沿いにあり飛び出し等危険なため、ちょっとバスの路線をまわしてもらえないか。
4	布引運動公園の予算を削ってでも、通学路の安全施設の予算をつけてもらいたい。
5	
6	
7	
8	
9	
10	

愛東北小学校バス通学説明会

平成22年8月4日 19:35～20:50 会議室

出席者 4人

	主な意見
1	安全に対する基準が書かれていない。安全基準を決めてほしい。
2	池の尻町の児童が平成14年下校途中に歩道において死亡事故が発生した。現状の道路のまま で通学させるのは危険であるので、早く通学路の改修をお願いしたい。その後通学について検 討してもらいたい。
3	特別の事情(事故・歩道未整備)でスクールバスを走行させてほしい。
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

愛東南小学校バス通学説明会

平成22年8月2日 19:40～21:00 教育相談室

出席者 2人

	主な意見
1	愛東外は、ちょこっとバス利用となっているが、登校時バスに乗っていくと学校へ早く着き、1人で教室でまっていなければならないため、実際は車で送り迎えをしている。(愛東外町 保護者電話で)
2	朝、ちょこっとバスが運行するのであれば、上岸本、大萩、梅林の人もバスに乗ることを考えるかもしれないし、対象の子にはバス利用をできるよう配慮してもらいたい。1人になると危険な箇所がある。
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

八日市西小学校バス通学説明会

平成22年7月30日 19:30～21:00 アミティあかね研修室

出席者 22人

	主な意見
1	朝の登校よりも下校時間にバスを利用したい。(鳴谷)
2	1, 2年生だけで公共バスに乗せるのは不安。バス停をおりてから学校まで歩かせるのも心配である。その間の安全を考えてほしい。バスを降りたら学校という形にしてほしいから、ちょっとバスを学校の横まで運行してほしい。徒歩通学 平田コミュニティセンターバス停～小学校 (1080m、押しボタン式信号のある県道を横断)、又は三津屋西バス停～小学校 (330m、横断歩道のみ市道を横断)。三津屋西で降りるのは子どもたちが慣れていないことも不安。(鳴谷)
3	バスに乗せるのであれば、1～6年生まで一緒に乗せてほしい。また、来年1年生が10人入ってくるため、1, 2年だけでも12人になる。平田駅前が乗車するとバスが満員になるため平田の児童が座れないことから、平田コミュニティセンターで降りなければならないかも?(鳴谷)
4	1, 2年生だけで、何かあったときに対応できるのか不安である。バス利用基準を、1, 2年生、3～6年生で区切ると集団登校のよさがなくなる。バス利用基準を学年で分けるのはおかしい。
5	通学距離よりも安全を考えてほしい。
6	1～6年生まで歩かせるのも、低学年が多く高学年が少ないため難しいのではないかと。今も5年生がつれていっているのが大変である。(鳴谷)
7	上羽田南方から平石まで、田んぼで人家のない通学路を帰らなければならない。平石の児童は人数が少ないため、1, 2年だけの下校になると途中まで家の人を迎えにきているのでなんとかならないか。
8	保護者が立ち番等やスクールガードをするのには限界がある。
9	
10	

八日市西小学校(平田駅前)バス通学説明会

平成22年8月3日 19:40～21:00 平田駅前集会所 ホール

出席者 7人

	主な意見
1	平田地区から検討委員会のメンバーが出ていないので、地元の意見を反映させるためにも平田地区から委員を出すべきである。
2	以前に立ち番など子ども見守り活動のためのベスト等が地元に配布されているが、見守り活動は全く活用されていない。
3	徒歩通学になったら、誰もいない農道を通学させるのは心配である。
4	ちょこっとバスは、平田地区が要望して運行してもらえるようになった経過があるため、利用して当然である。また、子どもたちが乗車することによって乗車率アップに貢献している。
5	ちょこっとバスはスクールバスではないため、お金を支払って乗るのだから問題ないのではないか。
6	圃場整備時に通学路の外灯等の安全整備をしてほしい。
7	
8	
9	
10	

御園小学校バス通学説明会

平成22年8月9日 19:30～20:50 会議室

出席者 5人

	主な意見
1	今代は、通学距離が2.7kmであるが、来年度は全学年でも2人しかいなくなるため、下校時は1人になる。それでも歩くことになるのか。(今代)
2	池田は、来年度6年生3人、4年生2人、1年生4人である。1年生だけでちょこっとバスに乗せるのも心配であるし、国道307号線を横断する箇所も危険である。全学年がそろっているわけではないので、バス利用をお願いしたい。(池田)
3	ちょこっとバスの乗車については、個人負担であり学校と相談してOKであれば問題ないではないか。
4	今後も、児童数が減少傾向にあるため、今までどおりバスで通学をしたい。
5	小神田は、通学距離が3km以上ある。バス通学を希望するわけではないが、御河辺橋に防犯灯を設置するなど安全面の整備をお願いしたい。(神田町の通学距離は2.5km)
6	安全確保ができていない道路を通学させるのか。安全安心の街づくりを進めているのに体力増強を重んじるのか。
7	
8	
9	
10	